



ジュニア・リーダー教室開講式

5/18 (日) こみゅにていぶらざ八潮

ジュニア・リーダー教室開講式が行われ、140名の受講生が参加し、令和7年度の活動が始まりました。

開講式ではジュニア・リーダー教室で大切にしている挨拶や約束についてお話をした後、1年間活動で受講生をまとめてくれるリーダーの紹介がありました。

開講式の後には全員でレクリエーションを行い、初めて会った受講生同士、協力しながら楽しみました。

昼食は各会場ごとに分かれてとり、自己紹介、次回からの活動内容について、リーダーから説明を受けました。

初めて参加する活動に緊張気味の受講生も、次第に打ち解けて、これから行われるキャンプや合宿に期待を膨らませている様子でした。



中高生夏合宿

6/21 (土) ~22 (日) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家

八ヶ岳の麓、清里のキャンプ場へ向かいました。例年同様、中高生夏合宿は8月に行われるサマーキャンプで、どんな催しや食事メニューにするのかの下見も兼ねています。リーダーの指導のもと、ハイキングをしながら小学生を楽しませるレクリエーションを検討し、夕食には肉巻きおにぎり・生春巻き風サラダを作りました。

予定通りに進行できず、検討が必要な部分もありましたが、次回の活動の参考になることでしょう。また、高校生は初めて参加する中学生に、火付けや薪割りの手ほどきをして、協力しながら充実した時間を過ごしました。

今年の清里は例年に比べ気温が高く、サマーキャンプに向けて、青少年委員にとっても安全管理に例年以上の配慮が必要になると気付かされる合宿になりました。



育成者研修

8/7 (木) 品川区役所

こどもの発達障害について～種類と特性、対応方法について学ぶ～

品川区子ども育成課にご準備していただき、NPO法人パルレ代表理事熊谷恵美先生の講話を拝聴する機会をいただきました。

発達障害には様々なタイプがあること、かかわり方のポイントを押さえることで混乱を減らせること、クールダウンスペースを作っておくこと…などを知ることができました。伝わりやすくする工夫の中には、私たちの普段の生活に活かせるような例もあり参考になりました。

発達障害を持つ方々が見ている世界を想像し、出来ている部分はきちんと認めることが大切なのだと理解しました。



新メンバー紹介



昨年度以降、新たに加わった仲間を紹介します！



新里 詩織
「しおりん」
(品川第一)
気合いだ～
!(^^)!



大森 久恵
「ひーちゃん」
(荏原第一)
ブログは任せ
てね(^_-)-☆



寺田 隆人
「てらさん」
(荏原第三)
若手のホープ
(^^)v



大河内 芳夫
「よっぴー」
(荏原第五)
常に前を向い
て頑張るぞ
9(<_>)o

編集後記

今年は新しい委員が加わり、活動にさらに活気ができました。これまではスケジュールをこなすだけで大忙しの状態でしたが、今後は各委員が楽しみながらスキルアップして、余裕を持った効率的な活動ができるよう、研鑽を積みたいと思っています。仲間が増えれば、その分だけ色々なアイデアが生まれそうです。区民の皆さんに興味を持っていただけるよう、活動の楽しさが伝わる誌面を作りたい!!と考えています。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

デイキャンプ

7/12(土)・7/13(日) みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場

1日目は旗の台・中高生会場、2日目は五反田・南大井・中高生会場が参加して、薪割り・火付け・飯ごう炊飯・カレー作りを体験しました。当日は暑さが厳しく、休憩・水分補給をはさみながらの活動になりました。

初めてかまどでの調理を経験した受講生の中には、煙が目にしみて涙が出てしまったり、汗をぬぐおうと思ったら、すでに顔が真っ黒になったりしてしまう子もいましたが、自分たちで一生懸命作ったカレーを皆で仲良く食べることができました。

食後は食器や使った調理器具を自分たちで洗い、午後の活動ではリーダーがレクリエーションをして小学生を楽しませてくれました。

中高生は夏合宿の経験を活かしてサマーキャンプを成功させるために、話し合いを行って2日間の活動を終えました。



サマーキャンプ



8/22(金)～24(日) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家

22日早朝、しながわ中央公園噴水広場で出発式を行った後、各会場ごとバス4台に分乗し、山梨県北杜市にあるキャンプ場に向かいました。

2泊3日のテント泊は、昼のハイキング、レクリエーション、火付け、炊事と大忙しでしたが、広い草原や山並みの美しさ、トンボの群れに囲まれて、自然を満喫することができました。

中高生は小学生を楽しませるために以前から準備してきたゲームや縁日、キャンプファイヤーを準備から片付けまで自分たちで行い、疲れた表情を見せてはいましたが、皆で大きな達成感を分かち合っているようでした。

受講生はもちろんのこと、リーダーや私たち青少年委員も非日常的な体験を通して、仲間と協力し、工夫をしながら料理や催しを作り上げる楽しさや喜びを味わいました。